



広報

つがる

2008
3.15
No.75



もうすぐ新1年生になりまーす!

第32回 新1年生おめでとう北五つがる大会
【9ページに関連】

つがる市表彰式



永年の功績がたたえられ表彰された受賞者

2月12日、松の館で合併して初めての「つがる市表彰式」が行われ、合併以前から地方自治の発展、社会福祉の向上、教育文化の振興等に貢献された方々を表彰しました。表彰式では褒賞3人、特別功労賞2人1団体、功労賞25人の功績をたたえ、福島市長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡し「これからも豊富な知識と尊い経験を生かして、つがる市の発展のためにご支援いただきたい」と式辞を述べました。

引き続き、高橋作蔵市議会議長が来賓祝辞を行い、受賞者を代表して成田清繁さんが「本日の受賞した感激をいつまでも忘れることなく、市制発展のために全力を尽くして参ります」と謝辞を述べました。

野呂 勝弘氏

(木造下福原/66歳)
旧木造町及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

工藤 一美氏

(木造永田/80歳)
旧木造町及びつがる市民生委員児童委員として地域の福祉の向上に貢献

長内 一康氏

(木造増田/61歳)
旧木造町及びつがる市消防団員として消防行政の発展に貢献

高橋 義治氏

(森田町下相野/64歳)
旧木森田村及びつがる市消防団員として消防行政の発展に貢献

成田 才助氏

(富蒔町藪分/61歳)
旧車力村及びつがる市消防団員として消防行政の発展に貢献

佐々木 謙一郎氏

(木造若宮/75歳)
旧木造及びつがる市交通安全協会役員として交通安全の推進に貢献

粕谷 金三郎氏

(木造末広/74歳)
旧木造及びつがる市交通安全協会役員として交通安全の推進に貢献

亀山 英一氏

(稲垣町千年/55歳)
旧稲垣村及びつがる市交通指導隊員として交通事故抑止に貢献

成田 政廣氏

(木造鶴泊/86歳)
旧木造町及びつがる市政連絡員として行政運営に貢献

西窪 英雄氏

(木造末広/85歳)
旧木造町及びつがる市政連絡員として行政運営に貢献

新岡 和正氏

(木造菰槌/74歳)
旧木造町及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

大澤 清三氏

(木造吹原/75歳)
旧木造町及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

葛西 忠司氏

(森田町床舞/76歳)
旧森田村及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

対馬 勝弘氏

(森田町上相野/64歳)
旧森田村及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

須藤 源三郎氏

(木造千代田/74歳)
旧木造町及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

中野 専之丞氏

(柏桑野木田/72歳)
旧柏村及びつがる市農業委員会委員として地域農業の振興発展に貢献

長尾 精二氏

(稲垣町下繁田/64歳)
旧稲垣村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

鳴海 忍氏

(森田町大館/74歳)
旧森田村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

加藤 徳彌氏

(稲垣町繁田/69歳)
旧稲垣村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

佐々木 剛氏

(牛潟町大田光/65歳)
旧車力村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

佐藤 幸一氏

(牛潟町大田光/64歳)
旧車力村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

松橋 伊左美氏

(富蒔町萱津/63歳)
旧車力村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

毛内 正文氏

(車力町花林/73歳)
旧車力村及びつがる市社会教育委員として社会教育の発展に貢献

佐々木 安茂氏

(稲垣町千年/81歳)
旧稲垣村区長及びつがる市行政連絡員として行政運営に貢献

褒賞 3人

成田 清繁氏

(稲垣町沼崎/64歳)
旧稲垣村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

二川原 貢氏

(牛潟町湯上/67歳)
旧車力村及びつがる市車力地区消防団長として消防行政の推進に貢献

帯川 潤二氏

(稲垣町沼崎/70歳)
旧稲垣村及びつがる市稲垣地区消防団長として消防行政の推進に貢献

特別功労賞 2人1団体

加藤 優氏

(木造筒木坂/69歳)
旧木造町及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

中村 正行氏

(車力町屏風山/79歳)
平成20年「歌会始の儀」の詠進歌に入選
県立木造高等学校吹奏楽部
(木造日向)
演奏活動を通じ地域振興に貢献

功労賞 25人

小林 澄雄氏

(森田町床舞/71歳)
旧森田村及びつがる市議会議員として地方自治の振興発展に貢献

本庁・支所の

組織機構改編

市では「つがる市集中改革プラン」に基づいて事務事業の見直しや業務量にあった職員配置を計画的に行い、本庁の事務組織や機能の強化を図ります。

本庁・支所・施設等全ての組織について絶えず見直しを行い、統廃合の実施や組織のスリム化を推進するため、平成20年4月1日から次のとおり組織機構を改編します。

今後も限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）を有効活用し、効果的かつ効果的な事業の実施に取り組み、持続可能な公共サービスの提供に努めて参りますので皆様のご理解とご協力をお願いします。

総務部

「市行政改革大綱」、「市集中改革プラン」の策定など新たな行政システムの構築を図る取り組みや方針が示されたことに伴い、行政改革課を総務課（政策調整係）に統合いたします。

財政部

市税等の滞納者が増えることで行政サービスの提供が困難になることから、収納課の職員を増員し毎戸訪問等で自主納付の協力を呼びかけ、滞納整理の強化を図ります。

福祉部

公立保育所民営化等計画に基づき、平成20年4月から車力保育所と丸山保育所が廃止、川除保育所が民営化となります。

子育て支援と児童の健全な育成を図るため、4月から廃止となる車力保育所に車力地域子育て支援センターと学童クラブを設置します。

民生部

国保税業務の一貫した体系を構築し事務の効率化を図るため、税務課「国保税係」を国民健康保険課へ移管します。

平成20年4月から現在の老人保健制度が変わって、後期高齢

各支所

事務事業の見直しや業務量にあった職員配置及び本庁の事務組織や機能の強化を図るため、支所の課を廃止し係制とします。

教育委員会

昨年の9月につがる地球村で開催された全国スポーツレクリエーション祭事務局分室を廃止します。

つがる市役所



森田支所



柏支所



稲垣支所



車力支所



文化賞・スポーツ賞 8団体121人を表彰



小林教育長から表彰状を手渡される受賞者

2月24日、松の館でつがる市文化賞・つがる市スポーツ賞の授与式が行われ、文化やスポーツで活躍、功績のあった8団体121人を表彰しました。

授与式では、小林教育長が受賞者に表彰状を手渡し、長谷川良幸教育委員長があいさつしました。

また、受賞者を代表して川越七重さんが「スポーツ振興と文化発展のために精進して参ります」と謝辞を述べました。

◆つがる市文化賞

〔文化賞〕

黒滝春香（弘前大2年）
第24回NHK全国大学放送コンテスト・テレビドキュメンタリー部門第1位

〔文化奨励賞〕

長内正美
第29回青潮書道会全国展
日本教育書道研究会賞

〔青少年文化賞〕

花田愛里（柏小2年）第31回こども絵画コンクール（全国）
小学1・2年の部銀賞／
工藤茜（柏小6年）第31回こども絵画コンクール（全国）
小学5・6年の部銅賞／
外崎紗友美（繁田小6年）平成19年度赤い羽根共同募金作文コンクール最優秀賞／
白崎友貴（穂波小6年）第19回MOA美術館全国児童作品展絵画の部銅賞／
成田愛結美（稲垣中3年）平成19年度赤い羽根共同募金ポスターコンクール最優秀賞／
工藤早也香（車力中3年）第53回全国少年新春書道展特選／
對馬聖玲菜（木造中3年）平成19年度全国暴力追放推進作品コンクール標語の部最優秀賞／
外崎恵里華

◆つがる市スポーツ賞

〔スポーツ栄誉賞〕

（木造高3年）第8回東北地区高等学校かるた競技対抗戦団体優勝／
小村歩華（木造高3年）第31回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門読手コンクールの部準優秀読手（第4位）／
工藤美希、野宮美聡（木造高2年）、第14回高校かるた東北大会団体優勝／
高井沢菜（木造高1年）第14回高校かるた東北大会団体2位／
木村優里香（五一高3年）、
成田侑香、木村祥（同高2年）第31回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門文化連盟賞

〔青少年文化奨励賞〕

黒滝舜（繁田小4年）／平成19年度赤い羽根共同募金作文コンクール優秀賞／
江良祥耶、山本慎治（瑞穂小6年）青森県獅子踊保存会より優秀後継者として表彰／
石田瑞貴（柏中2年）第6回青森県中学校総合文化祭テーマに作品採用／
米谷美都里（鱈ヶ沢高1年）第16回暴力団追放作品コンクールポスターの部高校の部銀賞／
伊藤美穂（木造高稲垣校3年）郷土芸能「出野里獅子踊保存会」における各種活動

〔スポーツ賞〕〔団体の部〕

木造高等学校陸上競技部女子リレーチーム「平成19年度青森県春季陸上競技選手大会第1位」／
木造高等学校相撲部

「第60回青森県高等学校総合
体育大会相撲競技第1位」/
五衛館加福道場「第36回青森
県空手道選手権春季大会団体
形第1位」/つがる市相撲協
会「第62回青森県民体育大会
相撲団体第1位」

〔スポーツ賞〕《個人の部》

今陽佑（木造高3年）鶴賀隼
人（木造高1年）工藤豪人（木
造高1年）第60回青森県高等
学校総合体育大会相撲競技第
1位/坂本慈之（五衛館加福
道場）第36回青森県空手道選
手権春季大会団体形第1位/
花田裕也、木村健太郎、伊藤
豊、長谷川卓矢、黒瀧有志、
高橋道尊、葛西純也（つがる
市相撲協会）第62回青森県民
体育大会相撲競技団体第1位
/増田幹也（五工高3年）第
27回東北高等学校ウエイトリ
フティング競技選手権大会1
05kg級スナッチ第1位/木
村彩鈴（五一高1年）平成19
年度東北高等学校少林寺拳法
大会女子二段以上組演武の部
第1位/櫻庭沙織（五一高3
年）平成19年度東北高等学
校少林寺拳法大会女子初段演武
の部第1位/山谷尚也（五一
高3年）平成19年度東北高等
学校少林寺拳法大会男子団
体演武の部第1位/瓜田凱人

（五一高1年）平成19年度東
北高等学校少林寺拳法大会団
体演武の部第1位/土岐隆介
（五一高3年）平成19年度東
北高等学校少林寺拳法大会男
子団体演武の部第1位/鳥村
翔太（五一高3年）平成19年
度東北高等学校少林寺拳法大
会男子二段以上組演武の部第
1位/稲場由紀子（東奥義塾
高1年）60回青森県高等学
校総合体育大会女子100m背
泳ぎ第1位/木津谷仁（弘工
高1年）第60回青森県高等学
校総合体育大会バレーボール
競技第1位/長尾翔哉（木造
高1年）第62回国民体育大会
陸上競技青森県選手権考会少
年B男子円盤投げ第1位/伝
法谷拓（木造高2年）青森県
秋季陸上競技選手権大会男子
5000m競歩第1位/工藤
恒太郎（木造高3年）平成19
年度青森県高等学校総合体育
大会柔道競技男子個人66kg級
第1位/越後谷尚澄（木造高
3年）平成19年度東北高等学
校相撲選手権大会個人階級別
80kg以上100kg未満級第1
位/神真人（五農高3年）第
60回青森県高等学校総合体育
大会相撲競技個人選手権第1
位/工藤真弓（五農高1年）
第60回青森県高等学校総合体
育大会柔道競技女子個人78kg
超級第1位/岡本紗佑利（聖

愛高2年）青森県高等学校総
合体育大会バレーボール競技
第1位/三浦芙美（聖愛高2
年）青森県高等学校総合体育
大会バレーボール競技第1位
/佐々木藍（聖愛高2年）青
森県高等学校総合体育大会バ
レーボール競技第1位/蝦名
渉（国際武道大4年）平成
19年度国民体育大会柔道競技
青森県選手権考会成年男子60
kg級第1位/川越秀徳（つが
る市走友会）第24回東北マス
ターズ陸上競技選手権男子35
〜39歳の部3000m障害第
1位

〔ジュニアスポーツ賞〕《団体の部》

稲垣少年バレーボールクラブ
「第27回全日本バレーボール
小学生大会青森県大会第1
位」/稲垣中学校男子バレー
ボール部、稲垣中学校女子バ
レーボール部「第32回青森県
中学校新人バレーボール選手
権大会第1位」/稲垣中学校
野球部「第58回青森県中学校
体育大会第1位」

〔ジュニアスポーツ賞〕《個人の部》

秋元錬（豊川小6年）、斉藤
拓図（稲垣西小6年）、笠井
亮治（同小5年）、佐々木祐
公（同小5年）、黒瀧泰世（繁

田小6年）、黒瀧京（同小6
年）、加藤裕人（同小6年）、
尾野力哉（同小6年）、斉藤
悠磨（稲垣西小5年）、笠井
飛希（同小3年）、倉光駿（同
小3年）、工藤颯（柏小4年）
第27回全日本バレーボール小
学生大会青森県大会第1位/
佐々木健人、台丸谷裕介、會
津富幸、藤田悠平（以上稲垣
中2年）、工藤悠真、佐藤千
嗣、工藤真路（以上同中1
年）第32回青森県中学校新人
バレーボール選手権大会第1
位/斉藤美咲、笠井彩香、三
上真季、黒瀧望、神真優香（以
上稲垣中2年）、大高早映子、
台丸谷星花、台丸谷夏希、加
藤千菜実、工藤南、加藤楓乃
（以上同中1年）第32回青森
県中学校新人バレーボール選
手権大会第1位/黒瀧祐、大
坂谷啓生、藤田力、佐々木祐
真、秋元拓也、台丸谷卓真、
片山大地、神路迫人、蝦名孝
秋、加藤知行、佐々木智啓、
尾野慎哉（以上稲垣中3年）、
神悠太、秋元郁人、長内貴將、
小田桐龍成、渋谷津互、片山
秀隆（以上同中2年）、帯川
恭生（同中1年）第58回青森
県中学校体育大会野球競技第
1位/小山内優菜（向陽小5
年）NHK杯争奪青森県卓球
選手権大会第1位/野呂海人
（瑞穂小6年）第23回全国小

学生陸上競技交流大会青森県
代表選考会男子ソフトボール
投げ第1位/工藤勇氣（穂波
小6年）第29回青森県スポ
ーツ少年団フェスティバル陸上
競技記録会小学6年男子走り
幅跳び第1位/山下愛（穂波
小6年）第29回青森県スポ
ーツ少年団フェスティバル陸上
競技記録会小学6年女子10
0m走第1位/成田和（稲垣
西小4年）全国武道空手道交
流大会小学校の部3・4年女
子第1位/黒瀧舞衣（繁田小
5年）第7回全国武道空手道
交流大会グループ空手小5・
6年女子の部 第1位/黒山
裕寿貴（繁田小6年）第7回
全国武道空手道交流大会フル
コンタクト・グローブ空手小
学生の部第1位/柴谷舞（柏
小6年）第24回青森県少年柔
道選手権大会小学生女子6年
生の部第1位/新岡成美（木
造中1年）第58回青森県中学
校体育大会陸上競技1年女子
100m第1位/木村啓太
郎（津軽中2年）平成19年度
青森県中学校秋季バスケット
ボール大会第1位/永澤翔
（柏中1年）第3回青森県
オープンゴルフ選手権大会第
1位
（敬称略）

不審者対策を学ぶ

2月4日、牛潟小学校で防犯対策の「あんしん教室」が行われ、児童たちが不審者から声掛けされたときや留守番の電話対応などの対処方法を学びました。

講師は青森総合警備保障の社員3人が行い、1、2年生の19人は不審者から声掛けされた場合は「いかない」「のらない」「おおごえをだす」「すぐにげる」「しらせる」といった5つの約束を「いか・の・お・す・し」というキーワードで学びました。

また、実際の場面を想定した練習では、社員が不審者役を演じ児童に近寄ると「助けて!」と大声を出しながら走って逃げる対処法を学習しました。



不審者への対処法について説明を受ける児童

みずみずしい「みつ葉」を収穫

2月5日、寿幸会（会長小田桐勇・稲垣町）の会員ら12人がみつ葉の収穫を行いました。

みつ葉の水耕栽培は昭和61年から始めており、高齢者の健康増進のために年間を通じてガラスハウスで栽培しています。会員たちは朝8時30分から作業を行い、手際よくみつ葉の根はさみで切り、機械で選別して重さを量り丁寧に箱に詰めて出荷準備をしていました。

事務局の斎藤義勝さんは「会員をもっと増やして老人の健康づくりの場にしたい」と話していました。



手際よくみつ葉の根を切りそろえる会員

次代を担う子どもの支援

2月8日、市役所で「つがる市子どもの幸せ推進協議会」が行われ、協議会設立の目的や策定計画等について協議しました。協議会は、つがる市次世代育成支援地域行動計画に基づき、次の時代を担う子ども達が健やかに生まれ育つことのできる環境整備を図るために組織され、出席した委員へ秋田谷特別参与から委嘱状が交付されました。

組織会では会長に石川一美さん（木造菊川）、副会長に鈴木克隆さん（柏鷲坂）が就任し、秋田谷特別参与は「子ども達が健やかに育つため、活力に満ちた魅力あるまちづくりを推進してほしい」と述べました。協議会は今後、行動計画で示した事業内容を評価し要保護児童に対する援助活動等を進めていきます。



秋田谷特別参与から委嘱状を受け取る委員

屏風山ブランドについて意見交換

2月19日、館岡コミュニティ消防センターで東奥日報社主催の「東奥ろばた談議」が開催され、屏風山ブランドのPRや今後の課題等について話し合いました。

談議のテーマを「商標登録【屏風山】野菜はいま～パイオニア精神で畑作振興～」と掲げ、屏風山野菜生産組合や市場の関係者らは、約40年前にスイカやメロンなどの「屏風山」ブランドを商標登録してきた取り組みや開墾地での付加価値の高い作物の生産技術等について意見交換をしていました。

野呂民治組合長は「屏風山スイカやメロンはその名が全国に広く浸透し、産地ブランド力が高まってきました。しかしその一方では、担い手の高齢化と後継者不足の問題を抱えています」と話していました。出席者からは関係機関の連携を図り早急にこの問題を解決する取り組みが必要等の意見が出ていました。



ブランド化を推進するための活発な意見を述べる参加者



三村知事に質問されて答える児童

瑞穂小児童ら知事と交流

2月21日、瑞穂小学校を三村知事が訪れ「こんにちは！知事です」と題して青森県の未来について児童と意見交換を行いました。

三村知事は校歌の合唱で出迎えられ「今日は皆さんが思っている未来の青森県に望むことを聞きに来ました」とマイクパフォーマンスを交えながらあいさつしました。

児童は学校で学習したことを生かし「県の特産品を積極的にPRしてほしい」、「無農薬で安全な米作りのためにアイガモ農法を広めてはどうか」、「青森県の自然を生かしたテーマパークを造り、多くの人が訪れる青森県にしてほしい」、「販売機の近くりにリサイクルボックスを置いてリサイクルしやすい環境を整えてほしい」など新鮮な意見や発想を知事に話していました。

縄文遺跡群を世界遺産へと勉強会

2月28日、館岡コミュニティ消防センターで縄文遺跡群の理解を深めようと「世界文化遺産の勉強会2008 in 亀ヶ岡」が開催され、市民ら約120人が参加しました。

つがる市は、亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚を有しており、地元としては世界遺産登録を目指す機運が高まっています。勉強会は、市教育委員会の佐野忠史学芸員が市内の2史跡について説明した後、青森県三内丸山遺跡対策室の岡田康博室長が「世界遺産登録は地元の盛り上がりが必要。保存管理をしっかりと情報発信することが必要です」と述べていました。

また、NPO法人三内丸山縄文発信の会の藤川直迪理事長は「この地域は縄文の本家。先祖のことについてもっと把握することが大切です」と呼び掛けていました。



市内の史跡について説明をする佐野学芸員



柏スポ少アベック優勝 ー平間旗新人ミニバス大会ー

2月3日、柏総合体育センターで「第21回平間旗争奪西北五新人ミニバスケットボール大会」の準決勝と決勝が行われ、柏ミニバスケットボールスポーツ少年団がアベック優勝を果たしました。

大会は、西北五地域から男子8チーム、女子19チームが参加し熱戦が繰り広げられ、最優秀選手賞には男子・女子とも柏スポ少の木元汰朗君（5年生）、工藤ほのかさん（5年生）が選ばれました。

反射材たすきを寄贈 ーつがる地区交通安全協会ー

2月6日、つがる地区交通安全協会（桜庭修会長）が木造高校に反射材たすきを100本寄贈しました。

木造高校の運動部は、日没後に公道を走ってトレーニングをしており、冬期間は歩道が雪で埋まり車道を走らざるを得ないことから、交通事故に遭わないようにと同協会が寄贈しました。贈呈式では、桜庭会長が尾崎校長と生徒会長の水口翔太君（2年生）にたすきを手渡しました。



手作りアイスを作るぞ！ ー雪んこ柏スノーフェスター

2月10日、柏総合体育センターで柏子ども会育成連合会主催による「雪んこ柏スノーフェスタ」が行われ、小学生や保護者ら100人が参加し様々なゲームをして楽しみました。

目玉のイベントはグループでのアイス作りで、缶にアイスの素と雪を詰め、雪山から缶を転がしてシェイクさせ手作りアイスを作成させました。

出来上がったアイスはカップに移し変え、グループ毎に味わいながらおいしく食べていました。

紙漉り作品をお披露目 ーつがるこよりの会ー

2月10日、ジャスコつがる柏店文化ホールで、つがるこよりの会の作品展が行われ、多くの愛好者でにぎわっていました。

作品展は、会員が丹精込めて製作した徳利、バック、お盆、プランター等がずらりと展示され、愛好者は作品ひとつひとつに見入っていました。

会では紙漉り細工の制作活動を毎週水曜日の午後1時から4時まで木造中央公民館で行っていますので、興味のある方は是非一度ご覧ください。



防犯対策に役立てて ー防犯ベルを寄贈ー

2月18日、医療法人白生会胃腸病院の加藤重雄事務長が新入学児童の防犯活動に活用してもらおうと、市に防犯ベル352個を寄贈しました。福島市長は「昨年に引き続き感謝します、ベルは有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。

白生会では3年前から新入学児童のために寄贈しています。